いわみざわチャレンジスクール
(Iwamizawa Challenge School)

いわチャレ通信

第12号

令和8年 9月 27日発行
編集･発行 岩見沢市教育委員会 生涯教育課

天体望遠鏡づくり

実施日：令和８年９月２６日（土）
実施場所：郷土科学館

９月２６日、いわみざわチャレジスクール“天体望遠鏡づくり”を郷土科学館の研修室で開催しました。

参加者は作業机に着席し、対物レンズや接眼レンズを慎重に扱いながら、鏡筒を組み立て、ボンドやセロハンテープで固定しました。さらに、三脚に固定するための台座や目標を捉えるためのファインダを取り付けました。１時間３０分以上かけて、遂に３５倍の屈折式の天体望遠鏡を完成させました。

自分で作った天体望遠鏡をカメラ用の三脚に取り付け、研修室の外に出ました。ファインダを使って１００メートルほど離れた場所に置いた月と土星の写真を捉えます。次に、対物レンズの焦点を調整してピントを合わせ、逆さまになった月と土星の写真が見えると、歓声を上げていました。

再び研修室に戻り、基礎的な光線追跡法を使いレンズや望遠鏡の原理などを学び、“天体望遠鏡づくり”を終了しました。

当日は中秋の名月の翌日で満月の前日でした※。天候にも恵まれ、参加した小学生たちは家に持ち帰った自作の望遠鏡を使って、家族と一緒に月の表面のクレータや海、そして土星の輪を観察したことでしょう。

※　太陽太陰暦の１５日の定義と天文学の満月の日の定義が異なるため、今年は２日のずれが生じています。









今回のいわチャレは

♦参加者：小学生１１名
（保護者７名）
♦指導者
岩見沢郷土科学館
管理指導員　荻野　慎次